

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱいの森

# 能ヶ谷西緑地だより

2023年 6月 1日号 280号 能ヶ谷西緑地・樹の会

## 【6月の予定】

◆6月10日（土）（雨天翌日）

- ・桜広場、小田急住宅下草刈り
- ・花広場草刈り



◆6月24日（土）（雨天翌日）

- ・南斜面笹刈り
- ・花広場草刈り

\* 9:00 現地集合（9:00～11:30）

◆6月3日（土）（10:00～12:00）

- ・ママユ連・手作りカフェ
- 平和台集会所

問合せ：伊藤（735-8623）

どなたでも参加自由です。

作業には汚れても良い服装でおいでください。

※※※※※

緑地だより

※※※※※

5月13日（土） 雨 参加者 4名

明け方は曇りであったが、集合時は天気予報通り雨。作業中止か微妙であったが、男性3名と女性1名が集まつたので実施した。中央広場下の斜面に散らかっていた伐採したナラ枯れの木々の整理と冬場はすっきりしていた中央広場にドクダミが繁茂してきたので草刈りを行う。草刈り機1台が故障中であり、1台で実施した。故障した草刈り機を業者に出したところ、高額の修理見積が出たので修理をやめて新品を購入する方向で話し合った。10時半頃には一段と雨脚が強くなり早々に終了。雨に濡れ、体が冷えたので家に帰った後、着替えておとなしくしていました。（藤井）

5月14日（日） 曇り 参加者 8名

心配していた早朝の雨もなんとか上がり、作業することができて良かったです。

今日は、百合の丘の草刈りです。丁寧に百合のまわりの草を取っていくのですが、ホウチャクソウ（宝鐸草）や、ミヤマナルコユリ（深山鳴子百合）など似ている葉の草が沢山で困りました。季節に

## 【緑地に咲く】ナワシロイチゴ（苗代苺）



日本全国に分布するバラ科キイチゴ属の落葉低木。苗代の時期に実がなるため、名づけられました。開花は4～6月。淡い紅色をした五弁の花が上向きに咲きます。6月頃になると鮮やかな赤い果実が顔を出します。生食できるのが魅力です。  
(長谷部)

なるとそれぞれ綺麗な花を咲かせてくれる花達なので、他の草と一緒に刈ってしまい「ごめんなさい」を何度も繰り返していました。エゴノキの白い花が綺麗に落ちている上を見ると、葉がくるくる巻かれていて、昔の手紙に例えて「落とし文」（おとしふみ）と呼ばれている葉が沢山あります。エゴツルクビオトシブミという虫が葉に切り目を入れて、せっせと巻いて中に卵を生み、幼虫のゆりかごにしています。

最後のお茶で、又雨が降ってきて早々に散会になりました。  
(長谷部)

5月27日（土） 晴 参加者 6名

本日の緑地作業は、花畠広場の草刈りと整理でした。草刈機が一台壊れてしまい、一台で作業しました。届かない角は鎌の出番でした。かなり伸びており、次回までのばすと梅雨の前となり、ひどい状態になるところでした。女性陣は広場の整地や実のなる木の観察でした。

スタッフも高齢化てきており、作業内容を見直すことについて皆で話し合いました。このところ体調をくずす会員が出てきました。みなさんお互い気をつけましょう。  
(設楽)

【緑地を楽しむ本】

## 『ちきゅうのかいだん』 まつおかたつひで 作・絵 金の星社



子どもの頃、都内にあった我が家家の庭をシャベルで少し掘るとかならず、瓦のかけらや皿の破片などが出てきます。土を掘ればそんなものが出るものだと思っていました。

今考えると私が生まれる何年か前にあつた第二次世界大戦、東京大空襲の名残だったのですね。10数年の経過で、その時出来たがれきの山は、既に土の中に潜ってしまいました。あの頃もっと深く掘り進んだら、より下の地層から古い時代の遺物が出てきたのかもしれません。

そんなことを考えたのは、『ちきゅうのかいだん』を読んだからでしょうか。男の子と犬のギンタが扉を開くと、なが~い階段が地球の下の方へ連れて行ってくれます。下にいくほど、古い時代。初めは2万年くらい前のアメリカ、先住民がバイソン狩りをしています。

どんどん下に降りて（時代を遡って）いき、その時代に活躍した生きものたちを見ることが出来ますが、3000万年前くらいまでは、なんなく見たことのある動物たちです。その下は子ども達が大好きな恐竜の時代、花を咲かせる植物や昆虫も現れました。

どんどん階段を降りて3億6000万年も前には、生きものはすべて水の中です。38億年も前になると海は、小さい生きものしかいない、命が始まる世界になります。それより下は生きものが全くいない世界、マグマに覆われて…地球が生まれた46億年前まで降りてくると、出口の扉があり、無事に外に出すことができました。良かった！

地球上に生きものが生きてきた歴史を、地球の階段を降りながら知ることができます。すべての生き物は同じ祖先から出て、少しずつ、少しずつ変化をしていっているのだと感じました。

(小川)

【やままゆ連・手作りカレー】

### 立夏・木々の花満開の中の散策

5月7日（土） 10：00～12：00

西緑地中央広場を出発し神明社でしばし休憩、風の谷幼稚園までは、昨年4月2日の時と同じコースを行き、今回は片平川に沿った公園まで下って出発地点に戻るという約2時間半を8名で歩きました。

5月初旬の木々の緑に力強さを感じられました。花から実となつたばかりのクルミの小さな実、色とりどりの薔薇薔薇のお庭、スイカズラの小さな花が群れをなして咲いている様子、食べたらちょっと甘酸っぱい赤い実、大木の桐に咲き誇る紫の花、ブラシノキの深紅の花、などなど。

一番印象に残つたのが、朴(ほう)の花でした。朴の大きな葉は、食べ物を包んだり焼いたりするので知つていてましたが花を見るのは初めて。葉にふさわしい豪華な花でした。

途中の休憩で、Kさんが膝痛などに効く体操を教えてくれました。覚え易い体操で今後役立ちそうです。

この日は、日よけの帽子が飛ばされるほどの強い風と、薄い雲間からの日差しは紫外線がいっぱいでした。

カフェメニュー：ヨモギ餅

(斎藤光代)



ホウノキ

【緑地の樹】

## クマシデ

花広場奥の山斜面にひっそりと立っているので、長い間その存在に気づきませんでした。花は風媒花、実も風に飛ぶ種なので地味な木なのです。

実も葉も他のシデ類よりも大きいので、クマさんになったのでしょう。仲間のイヌシデは緑地にもいっぱい生えていますが、葉っぱの葉脈がイヌシデの12本程度に対してクマシデでは20本以上あります。

地味だけど、私はそのふんわりした実が大好きです。他のシデ類と比べて、ふくらしています。いかにも種をゆったりと守っているやさしいお母さんのようなのです。

クマのお母さん…今年も元気な種を飛ばしてくれるでしょうか。  
(小川)

プロフィール：カバノキ科 クマシデ属の落葉高木

葉脈が目立ちます



実は正月飾りにつける四手のようです。

## 緑地 アルバム

ブラックベリー



緑地のノイバラはピンク色！

どちらもシunjingiku  
の花ですが、ずいぶ  
ん違って見えます



- ◆ 緑地内は自然緑地として保全をしています。  
怪我しないよう十分に気をつけて楽しんでください。
- ◆ ご意見は nishiryokuchi@gmail.comまで  
「緑地だより」 編集： 小川

「能ヶ谷西緑地・樹の会」のHP（毎月末に更新）

<http://home.a03.itscom.net/ryokuchi/>

配信希望の方は、nishiryokuchi@gmail.comまで